

平成18年度 実施計画概要

河川総合開発事業

平成17年度までは、ダム管理に必要な設備の設置位置、設備容量等の概略検討を行っています。

平成18年度は、管理システム・管理所建物・付帯設備等の実施設計を行うこととしています。

平成18年度の共同事業費は、本体工事費・各種調査設計費及び補償工事費等に係る68億円を計上しており、そのうち約29億円が治水事業者負担となっています。

国営かんがい排水事業

徳富ダムを含む農業用排水施設の整備を行う、国営かんがい排水事業樺戸（二期）地区は、平成3年度に着手し、平成22年度完了に向けて事業を進めており、平成17年度末までの進捗状況は、事業費ベースで35.9%となっています。

そのうち、徳富ダムにつきましては、平成17年度から本体施工に着手し平成22年度の完成を予定しています。平成17年度までの進捗率は、事業費ベースで22.5%となっています。

樺戸（二期）地区は、平成18年度、徳富ダム及び農業用水施設の整備のために約99億円を計上しています。

徳富ダムについては、堤体コンクリート打設171千 m^3 を始めとする本体工事費・各種調査設計費及び補償工事費等に係る68億円を共同事業費として計上し、そのうち約38億円がかんがい事業者負担となっています。

水道事業

西空知広域水道事業は平成7年に事業認可を受けて、平成22年度までの工期で第4次拡張事業を実施しています。

平成13年度までに水道施設工事は完了し、現在はダム建設工事の負担を実施しています。

平成18年度のダム共同事業費の水道事業者負担は、約1億円となっています。